

Autumn 2024

発掘！発見！土の中にはロマンがいっぱい

もぐら の はなし



富士宮市 埋蔵文化財センターだより

秋号

2024
Autumn





土器編②

器や石器について知ろう！



前回の号では、縄文土器の特徴や、市内で出土した縄文土器にどんな文様があるのかを解説しました。今回は、しっかりと形の残る状態で埋蔵文化財センターに展示されている、迫力ある縄文土器を型式別に紹介します。ぜひ、実物を見にきてくださいね！

あなたの推しはどれ！？ 魅惑の縄文土器総選挙

Entry No.1

味わい深いシンプルさ！

高山寺式土器



縄文早期の土器としては最大の部類。一般に高山寺式土器は、大きな楕円文や、裏面のらせん状の凹みが特徴。

黒田向林遺跡出土

Entry No.2

細かい手仕事！

五領ヶ台式土器



縄文中期初頭の土器。深鉢や浅鉢が主。中部～関東を中心に分布。写真の土器には、細い竹を使って並行沈線が描いてある。

代官屋敷遺跡出土

Entry No.3

力強いフォルム！

加曾利E式土器



縄文中期後半の土器。深鉢が基本的な形。くびれの上と下で異なる文様が施されている。

袖野辻遺跡出土

Entry No.4

派手な装飾！

井戸尻式土器



土器の厚みは10mm前後と、分厚い。胴部の隆帯に、刻みや押圧、刺突文が施されている。写真の土器の口縁に立体的な装飾が。

滝戸遺跡出土

Entry No.5

デザイン性高い！

堀之内式土器



関東地方を中心に分布。縄文時代後期前半の土器。文様によって大きく二つに分かれ、さらにそれぞれに変遷が見られる。

滝戸遺跡出土

Entry No.6

無骨な感じがイイ！

曾利式土器



縄文中期後半の土器。貯蔵用と考えられ、把手のついた大形のものが多い。写真の土器には、指の腹を使って渦巻き模様が描かれている。

南原遺跡出土
※この2点は展示していません

2024 秋号のプレゼントクイズ！

どこにある？

今回は、迫力ある完形の縄文土器を紹介しました。これらは一部を除き、埋文センター展示室で公開しています。この中の土器をひとつ以上見つけて、職員に「ここにあるよ」と教えてください。埋文グッズを差し上げます。

バック ナンバー

これまでの『埋文ふじのみや』は富士宮市のホームページでご覧いただけます。



創刊号



Vol.2



Vol.3



Vol.4



Vol.5



Vol.6



Vol.7



Vol.8



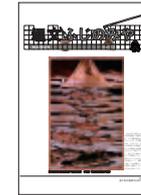
Vol.9



Vol.10



Vol.11



Vol.12



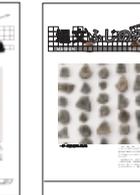
Vol.13



Vol.14



Vol.15



Vol.16



Vol.17



Vol.18



Vol.19



Vol.20



Vol.21



Vol.22



Vol.23



Vol.24

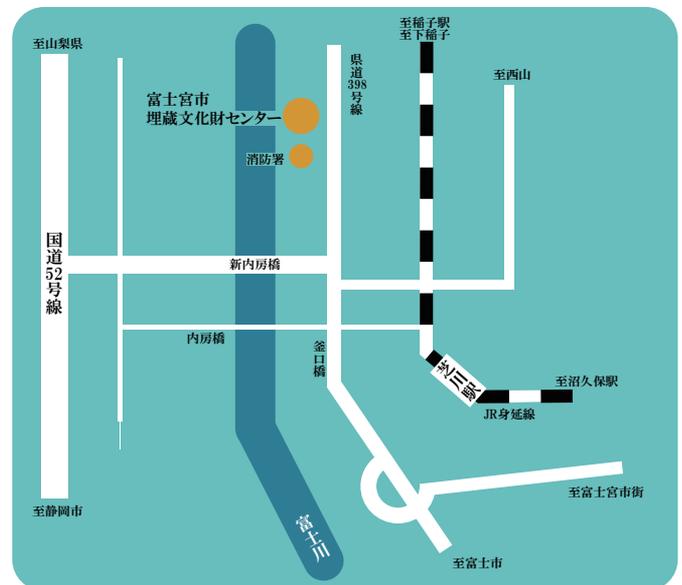


Vol.25

to be continued...

富士宮市埋蔵文化財センター

- 所在地 〒419-0315
静岡県富士宮市長貫 747-1
- 電話 0544-65-5151
FAX 0544-65-2933
E-mail maibun_center@city.fujinomiya.lg.jp
- 展示室 平日
開館日 * 祝日及び年末年始 (12月28日～1月3日) は休館
- 開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)
* 埋蔵文化財センターの業務時間は8:30～17:15
- 見学料 無料
駐車場 あり (無料)
- * 詳細は HP でご確認ください



富士宮市埋蔵文化財センターだより
もぐらのはなし 秋号 (通算 vol.26)

令和6年10月
編集 / 発行 富士宮市埋蔵文化財センター